

令和4年4月12日

智頭町議会議長 谷口雅人様

民生常任委員長 安道泰治

委員会調査報告書

本委員会の調査事件について調査を実施したので、智頭町議会会議規則第77条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 期 日

令和4年3月1日（火）

2. 場 所

八頭郡智頭町大字智頭2072番地1 「智頭町役場 議員控室」

3. 内 容

- (1) 智頭林業の課題
- (2) 課題解決に向けて
- (3) 森林・林業の明るい兆し（社会情勢の変化）
- (4) 地域林業を次世代へ引継ぐ森林づくり（林業の活性化と維持発展）

4. 目 的

智頭林業の現状と課題・今後の展開等についての意見交換を行い、本町の基幹産業である林業の発展のための今後の委員会活動に資する。

5. 派遣委員

全委員6名

6. 所 感 等

昭和55年がピークであった木材価格も現在は低迷し、それに伴う後継者不足と森林所有者の山離れ、組合離れという深刻な問題を抱えている。

一方、智頭町は基幹産業である林業に手厚い支援と新しい担い手確保として半林半×の就労形態化を測るとしている。

そして、公益的施策として林業環境譲与税の有効活用と林業後継者、森林生産活

動事業に対する各種助成制度等の充実と、明るい兆しも見えるようだ。

今後、活性化と維持発展のためには森林組合、民間事業者、自我林業家との情報共有を基に森林経営管理制度の利用、山林バンク、チップ化によるバイオマス供給等残材の有効活用と儲かる林業への転換を旨としていく。

やはり、次世代に引継ぐ森林づくり維持発展には、林業後継者（担い手）確保の急務が基本と考える。

意見交換は林業家の皆様の生の声を聞くことができ、充実した時間であった。